

令和4年度 みやぎ農業見聞のつどい 開催要領

～みやぎの農業を・見て感じる・聞いて深まる研修会！～

公益社団法人 みやぎ農業振興公社

1. 目的

近年、県内における地域農業の担い手は、後継者不足や高齢化が進行しており、次世代を担う農業者の育成が急務となっています。このような状況の中、非農家出身で農業に興味・意欲のある方や、他産業に従事し豊富な経験やスキルを持ち合わせている方等を、今後育成すべき農業者として、関係機関と連携のもと支援することが必要となっています。

このことから、新規就農への第一歩として、宮城県内で農業を職業（仕事）として興味を持たれた方、考え始めている方等に対し、独立自営就農や雇用就農につながる一助となることを目的に、当研修会を開催するものです。

2. 日時

令和4年10月22日（土） 10時00分～15時

3. 場所

JRフルーツパーク仙台あらはま

〒984-0034 宮城県仙台市若林区荒浜新2丁目17-1

(オンライン(zoom)による動画配信も併用(講座・事例紹介のみ))

4. 主催

公益社団法人 みやぎ農業振興公社

5. 共催

宮城県農政部、一般社団法人 宮城県農業会議、宮城県農業協同組合中央会

6. 内容

(1) 講座

「みやぎの農業について」

～園芸作物（野菜、果樹）の栽培について～

仙台ターミナルビル株式会社

専門監 山村 真弓 氏

専門監 菊地 秀喜 氏

(2) 先輩農業者の事例紹介

～就農までの道すじと取組状況について～

【事例紹介①】

仙台秋保 くまっこ農園 代表 渡邊 重貴 氏

【事例紹介②】

カモナ オーガニック ファーム

川崎町 KAM-O-NA organic farm 長嶺 圭太 氏

(3) 果樹園見学及び収穫体験（予定品目：ブドウ，梨，イチジク，リンゴ）

7. 応募及び参加費等

- ・対象者 宮城県内で新規就農を希望する 45歳以下の方
- ・定員 15名程度
※申し込み多数の場合は当方で調整させていただくことがありますので、予めご了承ください。
- ・募集締切 令和4年9月29日（木）
- ・応募方法 別添参加申込書に必要事項を記載いただき、郵送，メール，FAXにてご応募下さい。
※オンラインによる参加希望の場合は，メールにてお申込下さい。
※現地参加希望の方の参加可否については，改めて，募集締切後にお申込み頂いた方全員にご通知いたします。
- ・応募先 〒981-0914 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町 4-17
公益社団法人 みやぎ農業振興公社 担い手育成部 担い手育成班
TEL：022-342-9190 FAX：022-275-9195
MAIL：sodan@miyagi-agri.com
- ・参加費 参加者一人 1,500円（昼食代・農産物購入費等）
※昼食は統一メニューとなりますので、ご了承ください。
※集合場所までの交通経費は、自己負担となりますのでご了承ください。

【アクセス】

JR フルーツパーク仙台あらはま

〒984-0034

宮城県仙台市若林区荒浜新2丁目

TEL:022-390-0770



～* 公共交通機関でお越しの場合*～



仙台市営地下鉄線ご利用の場合
→東西線 荒井駅下車

※当日の集合(受付)場所は、総合施設棟に隣接している**研修棟**(※1)となります。



仙台市営バスご利用の場合
→荒井駅2番のりば
震災遺構仙台市立荒浜小学校行き
「震災遺構仙台市立荒浜小学校前」下車

(※1)外観



オンラインと
併用開催！

参加者
募集！

みやぎ農業 見聞のつどい

申込締切
9月29日
(木)

聞いて深めよう！見て感じよう！

日時

10月22日 土 10:00～15:00

会場

「JRフルーツパーク仙台あらはま 研修棟」
仙台市若林区荒浜新2丁目17-1
TEL：022-390-0770



※現地集合・現地解散となります。

講座

「みやぎの農業」について

～園芸作物(野菜, 果樹)の栽培について～

講師 仙台ターミナル株式会社
専門監 山村 真弓氏, 菊地 秀喜氏

講話

「先輩農業者の事例紹介」

～就農までの道すじと取組状況について～

講師 ・ 仙台秋保 くまっこ農園
代表 渡邊 重貴 氏 (50歳)
【無農薬・無化学肥料栽培/少量多品目】

講師 ・ 川崎町 カモナ オーガニック ファーム
KAM-O-NA organic farm
長嶺 圭太 氏 (41歳)
【無農薬・無化学肥料栽培/露地・施設野菜】

対象者等

対象者：宮城県内で新規就農を希望する

45歳以下の方

定員：15名程度 (詳細は開催要領にてご確認下さい)

参加費：1,500円 (昼食代・農産物購入費含む)

就農への
一歩！



果樹園内の見学・
収穫体験も予定
しております！

【お申込み・お問合せ先】

主催：(公社)みやぎ農業振興公社 担い手育成部 担い手育成班

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-342-9190 / FAX:022-275-9195 / Mail:sodan@miyagi-agri.com

共催：宮城県農政部, (一社)宮城県農業会議, 宮城県農業協同組合中央会

令和4年度「みやぎ農業見聞のつどい」行程表

日 付 : 令 和 4 年 10 月 22 日 (土)
 場 所 : J R フ ル ー ツ パ ー ク 仙 台 あ ら は ま

時 間	内 容	場 所
9:30	受付開始	JRフルーツパーク 仙台あらはま内 研修棟前
10:00	集 合	「オリエンテーション」
開 会	挨拶 : 公社 参与兼担い手育成部長 津場 俊行	
～	オリエンテーション	スタッフ紹介 : 関係機関担当職員 施設案内 : 仙台ターミナルビル(株) 観光農業部長 渡部 善久氏
10:20	講 座	「みやぎの農業について」 ～園芸作物（野菜，果樹）の栽培について～
～		講 師 : 仙台ターミナルビル(株) 専門監 山村 真弓氏 講 師 : // 専門監 菊地 秀喜氏
10:50	～	休 憩
11:00	事例紹介①	講師紹介（プロフィール）
11:05	・	先輩農業者の事例紹介①
質 疑	～就農までの道すじと取組状況について～	
～		講 師 : くまっこ農園 代表 渡邊 重貴氏 / 仙台秋保
11:40	昼 食	研修棟内等
・	市場見学	昼食会場 : 研修棟内
～	(自由見学会)	※昼食中は「新規就農PR動画」を配信予定
13:10	事例紹介②	講師紹介（プロフィール）
13:15	・	先輩農業者の事例紹介②
質 疑	～就農までの道すじと取組状況について～	
～		講 師 : カモナ オーガニックファーム KAM-O-NA organic farm 長嶺 圭太氏 / 川崎町
13:50	～	休 憩
14:05	果樹園見学	果樹園内見学及び収穫体験
・	体 験	講 師 : 仙台ターミナルビル(株) 専門監 菊地 秀喜氏
～	閉 会	閉会挨拶
15:00	・	公社 担い手育成部兼農村整備部総括次長 板橋 武人
解 散		

仙台ターミナルビル(株)



仙台ターミナルビルの取組み



2022/09/25

<仙台ターミナルビル(株) 紹介>

- 設立 1976年 4月
- JR東日本グループ
- 本社所在地
宮城県仙台市
- 事業エリア
宮城・山形・福島
- 事業内容
SCの管理運営・開発
ホテル事業
農業事業
オフィス事業
駐車場運営事業



エスパル仙台



エスパル福島

S-PAL



エスパル郡山



エスパル山形



ホテルメトロポリタン仙台



ホテルメトロポリタン仙台イースト



ホテルメトロポリタン山形



JR東日本 ホテルメッツ福島

観光農園



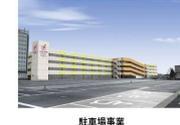
せんだい農業園芸センター みどりの社



JRフルーツパーク仙台あらはま

JR仙台イーストゲートビル

JR SENDAI EAST GATE BLDG.



駐車場事業



オフィスビル事業

<東日本大震災前後の荒浜地区>



荒浜小学校南西



荒浜小学校南側



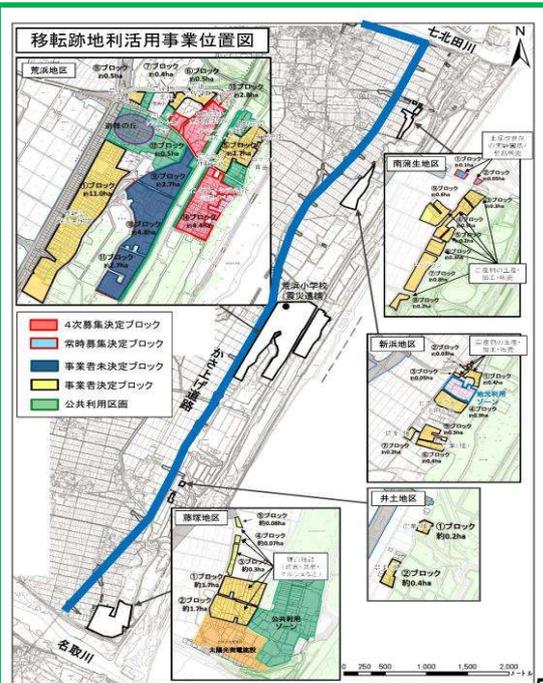
4

<仙台市集団移転跡地利活用事業 2017年12月>

東部沿岸部の津波被災地域において仙台市が防災集団移転促進事業により、買い取った土地（集団移転跡地）について、民間の自由な発想を生かして仙台の新たな魅力を創出する。

- ◆市民・事業者などが自由な発想で自ら取組む「新たな土地利用」市民や起業家・NPO・企業などの方々が自由な発想で主体的に取り組めるよう、できるだけ低廉な借地料を設定するなど、多様な主体の参加を促します。
- ◆仙台の「新たな魅力」を生み出す場の創出
自然環境など各地区の特性を踏まえつつ、新たな可能性（チャレンジ）を生み出す場、新たな魅力を創出する場を目指します。
- ◆市民・NPO・企業・行政の「新たな役割」を構築
多くの意見やアイデアをいたさながら、土地利用の制約に対し柔軟な対応を検討するとともに、活動する方々が主体的に運営管理する方法についても検討していきます。

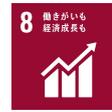
（仙台市HP等）



5

<仙台ターミナルビルの強い思い>

かつて人々が住まい、田畑が広がる長閑な地域でしたが、東日本大震災による津波により、その全てがのみこまれてしまいました。仙台ターミナルビルはこの場所をもう一度、人々の笑い声と笑顔が集う場所にしたい、この想いを胸に、仙台市の集団移転跡地利活用事業に参画いたしました。2021年3月18日ー



震災からちょうど10年。荒浜地区にJRフルーツパーク仙台あらはまが誕生しました。

震災復興

東部被災地域の復興支援

地域連携

東部沿岸地域の農業生産者や復興事業に参画されている事業者との連携

農業振興

「先端技術」と「収益性の高い農業」経営モデル

「集団移転跡地の利活用事業」に参画 東北を元気にする！

地元、日本、世界が欲する食材を育む。

地元、日本、世界が羨む場所を育む。

地元、日本、世界が求める人材を育む。

それを他でもない、震災から再び立ち上がる荒浜で「この地域に生きる人々」とともに育む。

6

<JRフルーツパーク仙台あらはまの役割 ~思い~>

再度、みんなが 集う場所にしたい

「JRフルーツパーク仙台あらはま」は仙台市東部沿岸地域に位置し、2011年3月11日 東日本大震災において津波により甚大な被害を受けた地域に開業します。この地域は災害危険区域指定により、定住できない集団移転跡地となりました。弊社は、仙台市「仙台市東部沿岸部の集団移転跡地の利活用事業者」へ街づくりや地域貢献を通して東北の復興を推進すべく名乗りをあげました。

かつてこの地域に住んでいた人々、周辺地域、仙台市、宮城県、東北とともに、農業を通じて、また人が集う場所にするために「JRフルーツパーク仙台あらはま」を開業しました。

7

<JRフルーツパーク仙台あらはまのコンセプト>

一年を通し旬の果物の摘み取り

高品質な果物の市中等への供給(販売・ホテルレストラン等への食材提供)

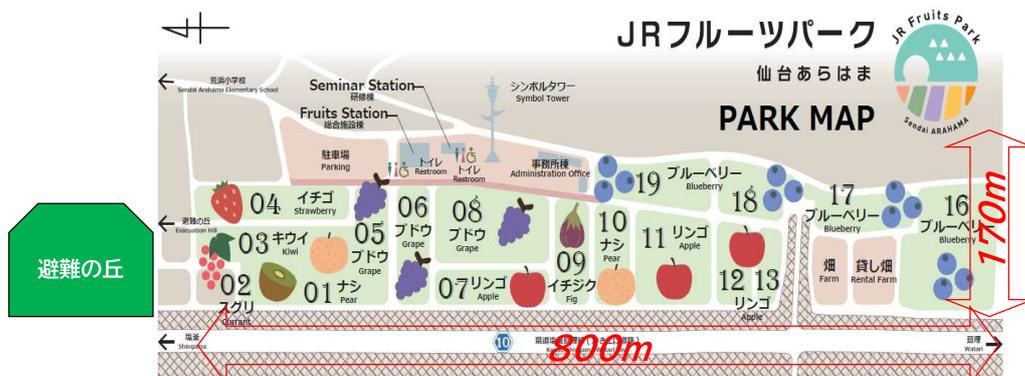
地域の農業生産者や東部沿岸地域の復興事業に参画している事業者等と連携

旬の果物や野菜を使ったカフェ・レストランと直売所の運営

8

<JRフルーツパーク仙台あらはま 施設概要-1>

所在地	仙台市若林区荒浜新2丁目17-1.5外(仙台市集団移転跡地)
面積	約10.7ha(・果樹栽培施設:71,200㎡・いちご栽培施設:5,000㎡・貸農園、自営畑:4,800㎡・建物その他25,700㎡)
事業内容	①観光果樹園事業 ②加工体験・6次産業化支援事業 ③販売・飲食・各種イベント事業 ④貸農園事業
栽培品目	○果樹:7品目、156品種、71,200㎡、12,300本 ブルーベリー(72品種・23,000㎡・5,290本)、ブドウ(8品種・17,500㎡・670本)、イチジク(16品種・3,500㎡・776本) ナシ(18品種・8,800㎡・1,830本)、リンゴ(34品種・15,000㎡・3,370本)、キウイ(1品種・1,900㎡・80本)、スグリ類(7品種・1,500㎡・285本) ○いちご:6品種・2,100㎡(ベツト)・13,000株



9

<JRフルーツパーク仙台あらはま 施設概要-2>



あらはまマルシェ

ARAHAMA MARCHE



直売所あらはまマルシェ
納品生産者会
「マルシェの会」発足
・登録生産者数：47生産者
・授産施設：6法人
・目的：納品農産物の付加価値向上
マルシェの安定向上
地域活性化の形成
障害者支援



Les Pommes

Café & Restaurant



地元の素材にこだわった
ホテルメトロポリタン仙台
シェフがプロデュース



10

<栽培果実>



農園で栽培する品目

農園で栽培する品種

8品目

162品種

「日本最大級の観光農園」
「宮城県発品種・希少品種等」



栽培品目

スグリ類、ブルーベリー、無花果、葡萄、梨、林檎、キウイ、苺、その他季節の野菜

11

<2022年 品目ごとの収穫時期(毎年収穫量は増大)>

苺(6品種)、ブルーベリー(40品種、収量:対前年3倍)、無花果(16品種)、葡萄(8品種、収量:対前年3倍)

梨(18品種、対前年:1.8倍)、林檎(31品種、収量:対前年5.3倍)、キウイ(1品種)、スグリ類(7品種)

全8品目(127品種、総収量:29.2t(野菜420kg含む) 前年比1.6倍)※A・B級品を収穫予定。

※162品種には2023年度予定

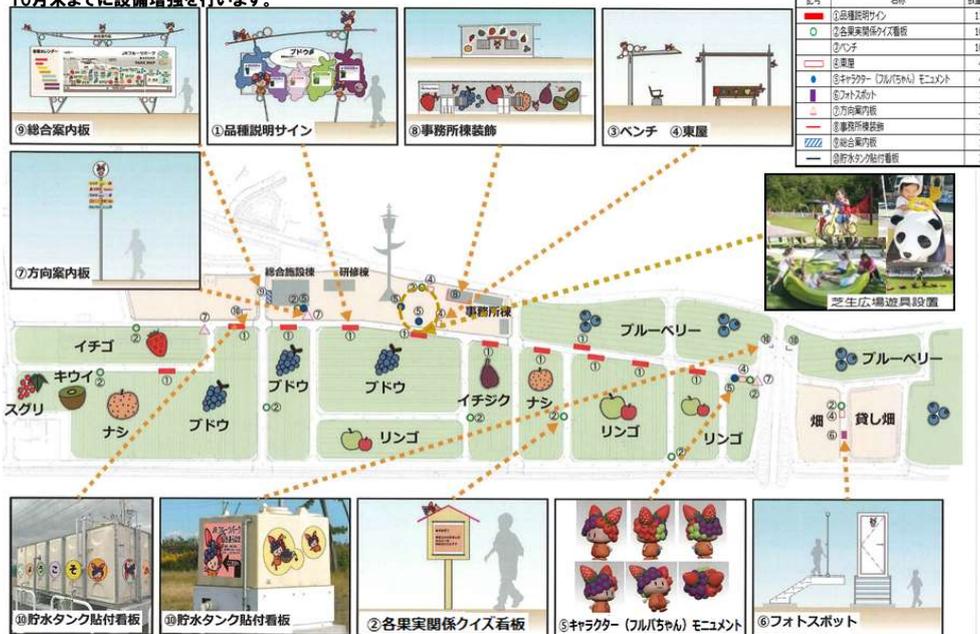


12

<更に魅力的な空間にする設備増強実施>

広い園内の「お客様回遊性・居住性向上」とフルーツパークの売りである「楽しい区間」「フルーツを学べる空間」となるよう

10月末までに設備増強を行います。



13

仙台ターミナルビル(株)



栽培管理・品目・品種紹介



2022/09/17

栽培管理

農業チャレンジ余話：砂地に挑む



- 「JRフルーツパーク仙台あらはま」の畑地は、砂質土壤で水持ち、肥料持が悪いのが特徴です。また、宅地跡なので場所によっては排水も悪く、果樹を栽培するには様々な改良が必要です。
- 開園前には、有機物の投入、園芸培土の利用、緑肥の栽培、水はけをよくする暗渠の設置などを行っています。

1

ジョイント栽培



- 樹と樹を接ぎ木により連結することで、樹勢のコントロールが容易になり、多収、果実の大玉化が実現できます。
- 作業動線が直線になるので省力的な管理が可能です。防風網、防鳥網の設置も容易になります。

2

リンゴのジョイント栽培



- ジョイントした幹から、V字状に伸びた側枝にたくさんのリンゴがなります。摘み取りにいらしたお客様の目の前に果実がたわわに実ります。
- 樹の勢いが強い場合には、幹を切断して根の量を減らします。幹を切断しても、ジョイントした枝はそのまま生育して結実します。

3

ナシのジョイント栽培



- V字に伸びた枝に、春になるとたくさんの花が直線上に咲き誇ります。
- 高さ3mになるまで枝を数年かけて伸ばし、樹形が完成するとナシのトンネルになります。

4

ブドウの短梢せん定

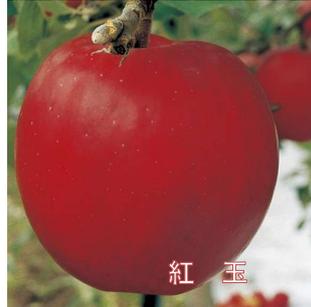


- 主枝から直角に伸ばした枝にブドウを1房結実させます。果実は直線上に並ぶように見えます。
- 伸びた枝は、せん定時に1～3芽で切り戻すせん定を行います。短い枝が残るので短梢せん定と呼びます。
- すべての作業が一直線になり省力的で、せん定方法もわかりやすいのが特徴です。

5

栽培品目・品種

酸っぱいが大好きな人へ、酸味系リンゴ



- 甘いリンゴが増え、しっかりした酸味の品種が少なくなりました。「JRフルーツパーク仙台あらはま」では、宮城県オリジナル品種「サワールージュ」（9月下旬～）、「紅玉」（10月中旬～）、「ほおずり」（10月下旬～）、「グラニースミス」（11月中旬～）の4品種をラインアップ。
- 酸味系リンゴは、お菓子や料理にぴったり。爽やかな酸味が味を引き立てます。
- 酸っぱいが好きな人には、もちろん生食でもokです。

写真提供；原田種苗

6

後世に残したいリンゴ達



- リンゴには珍しく細長い形の「スリムレッド」、果実は小ぶりで、皮がうすく丸かじりしたいリンゴです。
- 「千雪」は果肉がほぼ1日褐変しないリンゴです。
- 「JRフルーツパーク仙台あらはま」では、「こうたろう」、「新世界」、「陽光」、「北斗」など、後世にその味を伝えたいリンゴ達も揃っています。リンゴの多様性を是非お楽しみください。

写真提供；原田種苗

7

仙台ではほぼ手に入らないレアなリンゴ



華宝



錦秋



美丘

- 「華宝」（9月中旬～）、錦秋（10月上旬～）、美丘（11月下旬～）のトリオは、仙台ではほぼ手に入らないリンゴです。
- 「華宝」は「シナノスイート」の子供、「錦秋」は「千秋」の子供、「美丘」は「ふじ」と「世界一」の掛け合わせで、素晴らしい血筋のサラブレッドの味をお楽しみください。

写真提供；原田種苗

8

ナシ多士済々



はつまる



愛甘水



なつしずく



南水



あきづき

甘太

- ナシは8月中旬収穫の「はつまる」から、10月中旬収穫の「甘太」まで18品種を栽培。夏休みに間に合うよう「はつまる」、「愛甘水」、「香麗」、「なつしずく」、「甘ひびき」など早生種も数多く揃えました。
- 王道「幸水」、「あきづき」、甘系「南水」、「甘太」、個性豊かな「秀玉」、「秋麗」、「かおり」など奥深いナシの世界をお楽しみください。

写真提供；一部原田種苗

9

仙台ではほぼ手に入らないレアなナシ



- ナシ好きな方でもまだ食べたことのない品種も多数導入しました。
- 「凜夏」、「トーキョーELLIE」（9月上旬～）、「あきあかり」、「ほしあかり」（9月中旬～）、「有水（アリス）」（9月下旬～）、「大天梨」（10月中旬～）等、レア度満点の品種群です。
- 特に「有水」は全国でも先陣を切った栽培で、2023年の販売開始を予定しています。500gクラスの大玉で甘味が強いのが特徴です。お楽しみに！

写真提供；原田種苗

10

カラフルブドウ



- 様々な果物の中で、色のバリエーションがとても多いのがブドウ。当園でも、赤、赤紫、黒紫、黒、黄緑とカラフルブドウが揃っています。
- 8月下旬の「サニールージュ」、「ブラックビート」から始まり、9月下旬の「クイーンニーナ」、「ピオーネ」、10月上旬の「オリエンタルスター」、「シャインマスカット」と続きます。
- 「瀬戸ジャイアンツ」、「サンヴェルデ」の試作も行います。
- 大粒ブドウの摘み取り体験を是非！

写真提供；一部原田種苗

11

こよなく酸味を愛する人へ、赤フサスグリ



- 日本人はスグリを「酸塊」と書いており、食用ではなく観賞用の果実として楽しんできました。
- 一方、欧米では、写真のようにマルシェでイチゴ、ラズベリーと同じように売られており、スグリを使った食生活が浸透しています。
- コンフィチュールにすると鮮明で透明感のある赤色になります。強い酸味は加える砂糖の甘さと引き立てあって、とても濃厚な食味になります。
- 当園では、全国的にも珍しい赤フサスグリ、黒フサスグリ、ブルーベリーの小果樹トリオの摘み取り体験を計画中です。

12

個性豊かなブルーベリー達



- 当園では、試作品種を含めて70品種以上のブルーベリーを栽培しています。
- その中には、大玉早生種の「スージーブルー」、ブルーベリーなのにピンクの「ピンクレモネード」、パリパリした食感の大玉品種「タイタン」など個性豊かな品揃えです。
- 他にも「オーゼキブルー」、「オーロラ」、「ユーリカ」、「スイートハート」、「オクラッカニー」など最新品種も楽しんでいただけます。

13

皮ごと食べられる極上イチジク



ヌアールドカロン



コハク



ビオレソリエス



バナネ

- 宮城県でイチジクと言えば甘露煮ですが、全国的にはほぼ南東北だけの食文化です。使われるイチジクも「ブルンスウィック」というアメリカの品種で、長く在来種として扱われてきました。
- 市場に出回る品種は、ほぼ「榊井ドーフィン」です。皮が厚いので輸送製に富むのがその理由です。
- 世界最古の果物の一つであるイチジクには、実はたくさんの品種があります。皮がうすくて、輸送性がなかったのが、美味しいにもかかわらず出回りませんでした。当園では皮ごと食べられる写真の品種群の他にも、「ヨルダン」、「リザ」、「コナドリア」、「カドタ」、「セレスト」など16品種の栽培にチャレンジしています。

14

イチゴの高設栽培（養液栽培）

- 無病苗の増殖
(ナイヤガラ育苗)



- 育苗・定植
(簡易型棚育苗・35穴スクスクトレイ利用)



- 養液管理（アクアビートによるE・C・養液量制御）



- 収穫期
高設ベンチ
(高さ110cm)
ベッド間120cm
ゆったりとイチゴ狩りを楽しめます



加工にも利用



イチゴ栽培の最新技術導入 ①環境制御

- ミスト発生装置による飽差管理（最適光合成環境）
- 夜冷短日装置利用による作期の拡大
- 地下水利用によるクラウン冷却（連続出蕾）



• その他の環境制御

温度制御（暖房機・培地温湯暖房・天窓・側窓開閉）・CO₂発生装置・電照・養液管理システム（アクアビート）・循環扇 など

イチゴ栽培の最新技術導入 ②環境にやさしい病害虫防除（IPM）

- UV-Bランプの使用
- 天敵活用
- ラノーテープ活用



- UV-Bランプ：短時間照射により耐病性獲得
- 天敵活用：ダニ退治にダニを食するダニを活用
- ラノーテープ：害虫のオンシツコナジラミ防除に設置型のIGR剤でイチゴへの直接散布を回避
- 食品由来の防除剤の使用

仙台秋保 くまっこ農園

わたなべ しげたか
渡邊 重貴 氏



先輩農業者の

事例紹介
No.1

プロフィール

宮城県仙台市出身。非農家出身の50歳。大学卒業後、インドネシアでNGO活動を1年間、アメリカで2年間の農業研修を経る。帰国後は食品会社に勤務したものの、日に日に農業への思いを募らせ、独立自営就農を決意(当時32歳)。その後、仙台秋保の農業法人で2年間研修し、研修先近隣の農地の紹介を受け、就農地を仙台秋保に決定。就農して今年で17年目(就農時期：2006年(当時34歳))。

活用支援制度：【就農前】就農支援資金(制度改正により廃止)
【就農後】日本政策金融公庫 スーパーL資金



現在の経営概要



- ・栽培面積等：露地野菜14,000㎡ 施設野菜650㎡
- ・施設・機械：パイプハウス4棟(650㎡)
軽トラック1台、トラクター2台、
管理機3台
- ・労働力：本人+雇用(+研修生1名受入の場合有)
- ・販売先：宅配(7割)、有機専門店(1.5割)、直売所(1.5割)
- ・特徴：**多品目の無農薬・無化学肥料の野菜(約80品目)を栽培**
- ・その他活動：宮城県 新農業者ネットワーク役員を務める

今後の展望

農業経営について

- ・個人宅配事業の充実化、CSA(地域支援型農業)を目指す。
- ・耕作放棄地を活用し、放牧養豚に挑戦。

地域農業の振興について

- ・若手農業者の育成に尽力、消費者と農家をつなぐ架け橋を担う存在になりたい。



新規就農希望者へのアドバイス



- ・「のんびり暮らし」、「スローライフ」では食べていけない。
- ・地域に認められることが成功につながる。
- ・農業は甘いものではない、起業することと同じ。
補助金に頼りすぎず、途中で不要になるようにしっかりと営農する意気込みで取り組んで欲しい。
- ・「農業」=「好きな仕事」。大変でもありやりがいも感じている。

プロフィール

事例紹介
No.1

【氏名・出身等】

- ・ 渡邊 重貴氏（わたなべ しげたか）
- ・ 宮城県仙台市出身。非農家出身の50歳。

【経歴】

大学卒業後、インドネシアでNGO活動を1年間、アメリカで2年間の農業研修を経る。帰国後は食品会社に勤務したものの、日に日に農業への思いを募らせ独立自営就農を決意(当時32歳)。

【就農前の準備】

仙台秋保の農業法人で2年間研修し、研修先近隣の農地の紹介を受け、就農地を仙台秋保に決定。就農して今年で17年目（就農時期：2006年（当時34歳））。



活用支援制度：【就農前】 就農支援資金（制度改正により廃止）
【就農後】 日本政策金融公庫資金 スーパーL資金



くまっこ農園の
Instagramは
QRコードから
確認できます

現在の経営概要

事例紹介
No.1



- ・栽培面積等 : 露地野菜14,000㎡ 施設野菜650㎡
- ・施設・機械 : パイプハウス4棟 (650㎡)
軽トラック1台, トラクター2台,
管理機3台
- ・労働力 : 本人+雇用 (+研修生1名受入の場合有)
- ・販売先 : 宅配(5割), 有機専門店(1.5割),
直売所(1.5割)
- ・特徴 : **多品目の無農薬・無化学肥料の野菜
(約80品目)を栽培**
- ・その他活動 : 宮城県 新農業者ネットワーク役員

今後の展望

農業経営について

～個人宅配事業の充実化・ CSA（地域支援型農業）を目指して～

- ・ 新たな支払いシステムを導入し，需要と供給のバランスを保ち安定的な農業経営の確立を目指す。
▶ 従来：『月締め後払い』 / 現行：『6ヶ月先払い』
- ・ 耕作放棄地を有効活用し，放牧養豚に挑戦したい。



地域農業の振興について

～新規就農の促進・ 消費者と農家の信頼性の構築～

- ・ 若手農業者の育成に尽力するとともに，消費者と農家をつなぐ架け橋となる存在になりたい。



新規就農希望者へのアドバイス

事例紹介
No.1



就農前の心構え

- ▶ 「のんびり暮らし」、「スローライフ」では食べていけない。サラリーマンの2倍働く覚悟が必要。
- ▶ 地域に認められることが成功につながる。
- ▶ 農業は甘いものではない，起業することと同じ。補助金に頼りすぎず，途中で不要になるようにしっかりと営農する意気込みで取り組んで欲しい。

就農後の心境

- ▶ 大変さもあればやりがいもある。日々の忙しさも農業は「好きな仕事」であるため，楽しく充実している。

川崎町 カモナ オーガニック ファーム KAM-O-NA organic farm

ながみね けいた
長嶺 圭太 氏



カモナオーガニックファーム

先輩農業者の

事例紹介 No.2

プロフィール

宮城県仙台市出身。非農家出身の41歳。高校卒業後に上京し友人と共にジャマイカ料理店を開業。数年後、仙台へ帰郷し、会社員として設備工事や造園業等の業種を経験。会社員の傍ら、市民農園を借りて唐辛子、野菜の栽培を開始。日に日に「農業を仕事に」と考え始め、本格的な独立自営就農を決意(当時38歳)。就農前の準備として、家族の生活スタイルや消費地である仙台へのアクセスの良さを踏まえ、空き家バンクを活用し、川崎町の農地付き空き家物件を確保(就農後に本登記)。1年間のくまっこ農園での研修を経て就農(就農時期：2021年(当時40歳))。

活用支援制度：【就農前】就農準備資金(旧準備型)
【就農後】経営開始資金(旧経営開始型)、青年等就農資金



現在の経営概要

- ・栽培面積等：露地野菜4,800㎡ 施設野菜97.2㎡
約20品目の露地・施設野菜を栽培
- ・施設・機械：中古トラクター1台、軽トラック1台、
管理機1台、ビニールハウス1棟
- ・労働力：本人のみ(妻の補助有)
- ・販売先：直売所(4割)、仲卸業者・小売店(3割)、
外食産業等業者(3割)
- ・特徴：“一般野菜から珍しい野菜まで色とりどりの季節野菜を安心価格で提供”(カジュアルな無農薬野菜の販売を目指す)
- ・その他活動：宮城県新農業者ネットワーク会員

今後の展望

- ・店頭販売に加え、ネット販売も視野に入れ販路拡大を目指す。
- ・地域に信頼される中心的な担い手として、経営規模拡大を目指す。

最終目標 ～生産・加工・販売までの取組～

自分で栽培した野菜と唐辛子を使った「食品加工」を目指す。



新規就農希望者へのアドバイス

- ・就農する「メリット」・「デメリット」を整理しておくことが大切。
- ・農業は天候に左右される仕事。常に先を見越した計画を立てることが大切。



プロフィール

事例紹介
No.2

【氏名・出身等】

- ・長嶺 圭太 氏（ながみね けいた）
- ・宮城県仙台市出身。非農家出身の41歳。

【経歴】

高校卒業後に上京し友人と共にジャマイカ料理店を開業。数年後、仙台へ帰郷し、会社員として設備工事や造園業等の業種を経験。会社員の傍ら、市民農園を借りて唐辛子、野菜の栽培を開始。日に日に『**農業を仕事に**』と考え始め、本格的な独立自営就農を決意（当時38歳）。

【就農前の準備】

家族の生活スタイルや消費地である仙台へのアクセスの良さを踏まえ、空き家バンクを活用し、川崎町の農地付き空き家物件を確保（就農後に本登記）。1年間のくまっこ農園での研修を経て就農（就農時期：2021年（当時40歳））。

活用支援制度

：【就農前】 就農準備資金(旧準備型)，
【就農後】 経営開始資金(旧経営開始型)， 青年等就農資金

当農園については、
下記QRコードから
確認できます！



現在の経営概要

- ・ 栽培品目等 : 露地野菜4,800㎡ 施設野菜97.2㎡
※所有地8,000㎡
約20品目の露地・施設野菜を栽培
- ・ 施設・機械 : 中古トラクター1台, 軽トラック1台,
管理機1台, ビニールハウス1棟



- ・ 労働力 : 本人のみ (妻の補助有)
- ・ 販売先 : 直売所 (4割) , 仲卸業者・小売店 (3割) ,
外食産業等業者 (3割)
- ・ 特徴 : “一般野菜から珍しい野菜まで色とりどりの季節野菜を安心価格で提供”
(カジュアルな無農薬野菜の販売を目指す)
- ・ その他活動 : 宮城県 新農業者ネットワーク会員

今後の展望

- ・店頭販売に加え，ネット販売も視野に入れ販路拡大を目指す。
- ・地域に信頼される中心的な担い手として，経営規模拡大を目指す。

最終目標

～生産・加工・販売までの取組～

自分で栽培した野菜と唐辛子を使った「食品加工」を目指す。



新規就農希望者へのアドバイス



就農する「メリット」・「デメリット」を整理する

- ▶ モチベーションを上げることが大切。
自分の好きなことをしながら、就農するメリット(自然に囲まれたストレスフリーな環境で仕事ができる等)を考えること。
- ▶ 先輩就農者から生の話を聞き、現実を知ることが大切(現地訪問, YouTube等で情報収集)。
* 自分の時間は殆どなく, 農作業に従事する時間が長い。
* 災害時にも臨機応変に対応する必要がある。

就農前から『先読みトレーニング』

- ▶ 農業は天候に左右される仕事。
就農後は様々な場面で判断が迫られる。常に天候リスクを考え, 対策をシミュレーションしておくことが大切。